

「第2次まいばら福祉のまちづくり計画」策定のための アンケート調査 ご協力をお願い

市民の皆さまには日ごろから福祉行政にご協力いただき、ありがとうございます。
さて、本市では、現行の「まいばら福祉のまちづくり計画（第1次米原市地域福祉計画・第2次米原市地域福祉活動計画）」の期間が平成30年度に終了することから、平成31年度から5か年の計画となる「第2次まいばら福祉のまちづくり計画」の策定を進めています。

このアンケート調査は、20歳以上の市民2,000人の方々を無作為に選び、皆さまの福祉に対する考え、地域活動への参加状況などの実態を把握するとともに、ご意見、ご提言を広くお聞きすることで、今後策定する計画に反映していきたいと考えております。

また、このアンケート調査に際しましては、皆さまのお名前や個別の回答内容が公表されることはありません。プライバシーの保護には万全を期しておりますので、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。



平成29年11月

まいばらし
米原市

ご記入にあたってのお願い

- この調査票は、お名前・ご住所をご記入いただく必要はありません。
- ご記入は、ご本人にお願いいたします。ご本人のご記入が困難な場合は、ご家族などがご本人のお考えをお聞きの上、またはご意向を汲み取って、代理でご記入をお願いいたします。
- 障がい等により、調査票へ回答を直接記入することが困難な場合は、テキストデータをメールでお送りしますので、下記の問い合わせ先までご連絡ください。
- お答えは、あてはまる回答の番号に○をつけてください。また、記入欄については、具体的にその内容をご記入ください。
- 本調査の結果は統計的に処理いたしますので、お答えいただいた方に迷惑をおかけすることは一切ございません。思いのままをお答えいただきますようお願い申し上げます。
- ご記入いただいた調査票は、11月17日（金）までに、同封の封筒に入れて（切手を貼らずに）投函してください。ご協力の程よろしくようお願い申し上げます。

【調査に関するお問い合わせ先】

まいばらしけんこうふくしぶ 米原市健康福祉部 くらし支援課 電話：0749-55-8110 FAX：0749-55-8130
E-mail：fukushi@city.maibara.lg.jp

1. あなた自身のことについておうかがいします。

問1 性別をおうかがいします。(1つに○)

1. 男性 2. 女性 3. その他

問2 年齢をおうかがいします。(平成29年11月1日現在の年齢でお答えください)(1つに○)

1. 20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代 5. 60歳代 6. 70歳代 7. 80歳代 8. 90歳以上

問3 現在の家族構成についてお答えください。(1つに○)

1. ひとり暮らし(単身世帯) 2. 夫婦のみ(1世代世帯) 3. 親と子(2世代世帯) 4. 祖父母と親と子(3世代世帯) 5. その他 ()

問4 ご職業をお答えください。(1つに○)

1. 自営業(農業を含む) 2. 勤め人 3. パート・アルバイト 4. 学生 5. 無職 6. その他 ()

問5 お住まいの地域を教えてください。(小学校区別)(1つに○)

- | 【山東地域】 | 【伊吹地域】 | 【米原地域】 | 【近江地域】 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 柏原小学校区 | 4. 伊吹小学校区 | 6. 米原小学校区 | 8. 坂田小学校区 |
| 2. 山東小学校区 | 5. 春照小学校区 | 7. 河南小学校区 | 9. 息長小学校区 |
| 3. 大原小学校区 | | | |

問6 米原市には、どのくらいお住まいですか。(1つに○)

1. 2年未満 2. 2年以上5年未満 3. 5年以上10年未満 4. 10年以上20年未満 5. 20年以上30年未満 6. 30年以上

問7 お住まいの形態を教えてください。(1つに○)

1. 持ち家(戸建) 2. 持ち家(集合住宅) 3. 借家(戸建) 4. 借家(集合住宅) 5. その他 ()

2. お住まいの地域とのかかわりなどについておうかがいします。

問8 あなたは、自分が住んでいる地域にどの程度の愛着を感じていますか。(1つに○)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 大変愛着を感じている | 3. どちらかという愛着を感じていない |
| 2. どちらかという愛着を感じている | 4. 愛着をまったく感じていない |

問8-1 問8で「1」または「2」を選んだ方におうかがいします。それ以外の方は問8-2へお進みください。愛着を感じている理由は何ですか。(3つまで○)

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1. 長い間住み続けているから | 5. 静けさや緑が多いなど、環境が良いから |
| 2. 地域の人と親しくしているから | 6. 治安が良いなど、安心して住めるから |
| 3. 親・兄弟など親類がいるから | 7. その他 () |
| 4. 地域の行事や活動が楽しいから | |

問8-2 問8で「3」または「4」を選んだ方におうかがいします。愛着を感じていない理由は何ですか。(3つまで○)

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 生まれ育ったまちではないから | 4. 自然等の環境が良くないから |
| 2. 地域の人と親しくしていないから | 5. 治安が悪いなど、安心して住めないから |
| 3. 親・兄弟などの親類がいないから | 6. その他 () |

問9 あなたにとって「身近な地域」とはどの程度の範囲ですか。(1つに○)

- | | | | |
|--------|---------|--------|------------|
| 1. 組・班 | 3. 小学校区 | 5. 旧町域 | 7. 湖北地域 |
| 2. 自治会 | 4. 中学校区 | 6. 米原市 | 8. その他 () |

問10 あなたは、ご近所とお付き合いをどの程度していますか。(1つに○)

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 困った時には互いに助け合う | 4. あいさつをする程度 |
| 2. お互いによく訪問し合う | 5. ほとんど付き合いはない |
| 3. 会った時には立ち話をする | |

問11 あなたは、今のご近所との付き合いに満足(普段から協力や助け合える関係が築けているなど)していますか。(1つに○)

1. 満足している 2. ほぼ満足している 3. あまり満足していない 4. 不満である

問12 地域の人たちが協力して取り組んでいくことが必要な問題は、次のうちどれだと思いますか。(3つまで○)

- | | |
|-------------------------------|-----------------------|
| 1. 地域住民同士の交流・接点づくり | 5. 健康づくりへの取り組み |
| 2. ひとり暮らし高齢者や夫婦のみなどの高齢者世帯への支援 | 6. 青少年の健全育成の取り組み |
| 3. 子育てで悩んでいる家庭への支援 | 7. 犯罪防止の取り組み |
| 4. 障がい者への支援 | 8. 火災予防や災害時の避難などの取り組み |
| | 9. その他 () |

3. 日常生活についておうかがいします。

問13 あなたは、日々の生活で困っていること、悩みや不安を感じていることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 自分や家族の「心身の健康」 | 9. 「災害」への備え |
| 2. 自分や家族の「家計」 | 10. 「犯罪被害」の回避 |
| 3. 「育児や介護」などの負担や悩み | 11. 体調の急変など「緊急時の対応」 |
| 4. 学校・職場・地域での「人間関係」 | 12. 生活の「孤立・孤独感」 |
| 5. 自分や家族の「老後の生活設計」 | 13. 調理や洗濯など「身の回りの家事」 |
| 6. 子どもや若者の「教育や将来」 | 14. その他 () |
| 7. 買い物や通院など「外出の不便さ」 | 15. 特にない |
| 8. 除雪・高所作業などの「力仕事」 | |

問14 あなたは、日々の生活のなかで困ったことがある時、誰に相談していますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|------------------|----------------|----------------|
| 1. 家族・親戚 | 6. 民生委員・児童委員 | 10. 社会福祉協議会の職員 |
| 2. 近所の人 | 7. 医師・看護師 | 11. その他 |
| 3. 友人・知人(近所の人以外) | 8. 福祉施設・サービス | () |
| 4. 職場の人 | 9. 事業所の職員 | 12. 相談しない |
| 5. 自治会の役員 | 9. 市役所等の関係行政職員 | |

問15 誰もが住み慣れた地域で安心して生活していくため、身近な地域で、今後特に必要と思うことはどんなことですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 介護が必要になった時に通所・入所できる「介護・福祉施設」の充実
2. 誰でも気軽に集える「地域の拠点」の確保
3. 介護が必要になった時に自宅で利用できる「介護・福祉サービス」の充実
4. 誰でも困った時に支え合える「福祉ボランティア・NPO活動」の育成
5. 身近な地域での「住民同士の支え合い」の推進
6. 地域では助け合いができないことを補い合う「より広い範囲の支え合い」のしくみづくり
7. 一人ひとりが、困った時に困っていると言える「助けられ上手」になること
8. 援助を必要とする人の状況を「地域の中で把握」しておくこと
9. 援助を必要とする人の「情報を市と地域で共有」すること
10. 困りごとや悩みを安心して相談できる「相談体制」の充実
11. 緊急時の連絡や行政情報の伝達など「連絡が付きやすい」体制づくり
12. 交通手段の確保、道路や建物の段差解消など「外出しやすい」環境づくり
13. 店舗から地域に移動販売に来てくれるなど「買い物しやすい」環境づくり
14. その他 ()
15. 特にない・わからない

とい 問16 あなたは、ご近所に困っている人がいる時、どのようなことができますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|--------------|-----------------|-----------------|
| 1. 安否確認の声かけ | 5. ちょっとした家事 | 9. いざという時の緊急連絡先 |
| 2. 話し相手 | 6. 買い物の代行 | 10. 災害避難時の付き添い |
| 3. ごみ出し | 7. 買い物や通院等の付き添い | 11. その他 () |
| 4. 玄関前の掃除や除雪 | 8. 短時間の子ども預かり | 12. 特にできることはない |

とい 問17 あなたがご近所で困っている人に手助けをする場合に、どのような支援があれば手助けし
やすいと思いますか。(3つまで○)

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. 気軽に相談できる窓口 | 5. 活動に関する情報発信 |
| 2. 活動できる拠点や場所 | 6. 人材・リーダーの育成 |
| 3. 交通費等の経済的な補助 | 7. その他 () |
| 4. 活動に関する研修や講習会 | 8. 特にない |

とい 問18 あなたが困った時、ご近所に頼りたいことは、どのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|--------------|-----------------|-----------------|
| 1. 安否確認の声かけ | 5. ちょっとした家事 | 9. いざという時の緊急連絡先 |
| 2. 話し相手 | 6. 買い物の代行 | 10. 災害避難時の付き添い |
| 3. ごみ出し | 7. 買い物や通院等の付き添い | 11. その他 () |
| 4. 玄関前の掃除や除雪 | 8. 短時間の子ども預かり | 12. 特に頼ることはない |

4. 地域活動・ボランティア活動についておうかがいします。

とい 問19 あなたが住んでいる地域の住民自治活動は活発だと思えますか。(1つに○)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. とても活発に行われていると思う | 3. あまり活発に行われていないと思う |
| 2. ある程度活発に行われていると思う | 4. ほとんど行われていないと思う |

とい 問20 地域の住民自治活動を活発にするためには、主に何が必要だと思えますか。(3つまで○)

1. みんなが気軽に参加できる地域イベントの開催
2. 住民一人ひとりが地域への関心を高めること
3. 若者や勤務者等の幅広い層への呼びかけ
4. 近所の人とのつながりをつくる
5. みんなが集まり地域の課題を話し合える場づくり
6. 活動情報の積極的な地域内外への発信
7. 財源の確保
8. その他 ()

問21 お住まいの地域で行われている次のような地域活動の中で、あなたがここ1～2年の間に参加したのがありますか。①～⑫のそれぞれの活動ごとにあてはまるものを選んでください。((1)・(2)それぞれ1つに○)

活動内容	(1) 参加経験			(2) 今後の参加意向		
	参加したことがある	現在参加している	参加したことはない	是非参加したい	機会があれば参加したい	参加したくない
(例) ① 住民自治活動	①	2	3	①	2	3
① 住民自治活動(自治会、まちづくりNPO)	1	2	3	1	2	3
② 産業振興(商工・観光・農林漁業等)	1	2	3	1	2	3
③ 健康づくり活動	1	2	3	1	2	3
④ 趣味・文化活動	1	2	3	1	2	3
⑤ スポーツ・レクリエーション活動	1	2	3	1	2	3
⑥ 防災活動	1	2	3	1	2	3
⑦ 防犯・交通安全活動	1	2	3	1	2	3
⑧ 美化・環境活動	1	2	3	1	2	3
⑨ 子育て支援活動	1	2	3	1	2	3
⑩ 高齢者福祉活動	1	2	3	1	2	3
⑪ 障がい者福祉活動	1	2	3	1	2	3
⑫ その他()	1	2	3	1	2	3

問21-1 問21「(2)今後の参加意向」で、1つでも「参加したくない」を選んだ方におうかがいします。その理由は何ですか。(3つまで○)

- | | |
|---------------------------------|--------------------|
| 1. 仕事や家事で忙しいから | 4. どこで活動しているかわからない |
| 2. 体が弱い、病気がち | 5. 一緒に参加してくれる人がいない |
| 3. 病人や高齢者、子どもなど
家族の世話をしているから | 6. 興味が無い |
| | 7. その他() |

問21-2 問21「(2)今後の参加意向」で、1つでも「機会があれば参加したい」を選んだ方におうかがいします。それ以外の方は問22へお進みください。どのような機会があれば参加したいと思いますか。(3つまで○)

- | | |
|----------------------|---------------------------|
| 1. 時間や日程の都合が合えば | 5. 行政機関(社会福祉法人を含む)からの情報提供 |
| 2. 自治会など地域の組織からの呼びかけ | 6. 学校や職場の行事やプログラム |
| 3. 家族や友人、知り合いからの誘い | 7. 最低限度の報酬(交通費実費や昼食代など) |
| 4. ボランティア活動団体からの呼びかけ | 8. その他() |

問22 地域における助け合いや支え合いの活動を活発にするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(3つまで○)

1. 学校教育や社会教育で、福祉教育を充実する
2. 福祉活動に携わる人やそのリーダーを養成する
3. 地域における温かな人間関係(信頼関係)の構築
4. プライバシーの尊重や人権に関する意識の啓発をする
5. 介護やボランティア活動、生活支援の方法などに関する研修を行う
6. 地域でボランティアなどの活動の拠点となる場を整備する
7. 住民と専門職が、活動状況や要支援者等の状況を情報共有できる場をつくる
8. 地域における福祉活動の意義と重要性についてもっとPRする
9. 福祉活動の相談・支援を担当する専門職員を充実させる
10. 地域における福祉活動の活動費や運営費などの資金的な援助を行う
11. 活動者同士がつながる交流の場の確保を行う
12. その他()

5. 災害時の支え合いについておうかがいします。

問23 あなたは「避難行動要支援者登録制度」※について、知っていますか。(1つに○)

1. 制度名も内容も知っている
2. 制度名は知っているが内容は知らない
3. 知らない

※避難行動要支援者登録制度とは、ひとり暮らしの高齢者や障がいのある人など、災害時の避難行動に支援が必要な人(避難行動要支援者)に登録していただき、大規模な災害発生時には地域の皆さんで避難を支援する取り組みです。

問24 あなたは、地震等の災害に対する地域の備えとして、大切と思うことはどんなことですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 災害対策についての「学習機会」
2. 家族や隣近所で話し合っておくなど「自主的な災害への備え」
3. 日常の地域付き合いなど「近隣・地域での住民同士の関係づくり」
4. 地域での防災・避難訓練
5. 危険箇所の点検や、避難に助けが必要な人の把握
6. 自分から「避難には支援が必要」と手を挙げる
7. 市や自治会と住民の連携による避難支援体制の確立
8. 災害ボランティア・NPO活動の充実
9. 避難所・避難経路・備蓄等の適切な確保(要援護者への配慮を含む)
10. その他()
11. 特にない・わからない

とい
問31 あなたは、「**成年後見制度**」※を知っていますか。(1つに○)

1. 制度名も内容も知っている 3. 知らない
2. 制度名は知っているが内容は知らない

※成年後見制度とは、障がいや認知症等で判断能力が十分でない場合、本人に代わって家庭裁判所が定める法定後見人が財産管理や介護サービス契約等を行うことができる制度です。

とい
問32 あなたは、「**障害者差別解消法**」※について、知っていますか。(1つに○)

1. 名称も内容も知っている 3. 知らない
2. 名称は知っているが内容は知らない

※障害者差別解消法とは、全ての国民が、障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、障がいを理由とする差別の解消を推進することを目的として、平成28年4月から施行されています。

とい
問33 あなたは、「**生活困窮者自立支援制度**」※について知っていますか。(1つに○)

1. 制度名も内容も知っている 3. 知らない
2. 制度名は知っているが内容は知らない

※生活困窮者自立支援法に基づき、福祉事務所設置自治体(県および市)が自立相談支援機関(相談窓口)を設置し、生活困窮者への相談支援の実施や住居確保給付金の支給、その他の生活困窮者に対する自立の支援に関する措置を講ずることにより、自立に向けた支援を行います。
「生活困窮者」とは、多重債務者、ホームレス、ニート、ひきこもり、障がい疑われる人など、さまざまな課題により経済的に困窮している人をいいます。生活保護に至る前の段階から、早期の支援が必要とされています。

とい
問34 あなたは、「**米原市社会福祉協議会**」※を知っていますか。(1つに○)

1. 名称も、その活動内容も知っている 3. 名称も、その活動内容も知らない
2. 名称は聞いたことがあるが、その活動内容はあまり知らない

※社会福祉協議会とは、住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせるように、市民主体、市民参加による福祉活動を行っています。高齢者や障がい者などを支援するボランティアの活動支援や福祉サービス、独自の福祉事業の提供を通じて、生活が豊かになるための取り組みを行っている団体です。

といてい まいばらししやかいふくしきょうぎかい おこな じぎょう とりくみ にんしき
問35 米原市社会福祉協議会が行っている事業について、あなたの(1)取組への認識と、
(2)今後の充実への期待についてうかがいます。①～⑳について、あてはまるものを選んでください。((1)・(2)それぞれ1つに○)

活動内容	(1) 取組への認識		(2) 今後の充実への期待			
	知っている	知らない	大いに期待する	期待する	あまり期待しない	わからない
(例)① 広報などの情報提供媒体	①	2	1	②	3	4
① 広報などの情報提供媒体	1	2	1	2	3	4
② 相談窓口	1	2	1	2	3	4
③ 介護保険サービス	1	2	1	2	3	4
④ 障がい者福祉サービス	1	2	1	2	3	4
⑤ ③④以外の生活支援サービス	1	2	1	2	3	4
⑥ 備品の貸し出し	1	2	1	2	3	4
⑦ ボランティアセンター	1	2	1	2	3	4
⑧ 地域支えあい活動の支援	1	2	1	2	3	4
⑨ 災害時支援体制づくり支援	1	2	1	2	3	4
⑩ 子育て・孫育てサークルの育成・支援	1	2	1	2	3	4
⑪ 放課後児童クラブ	1	2	1	2	3	4
⑫ 福祉教育	1	2	1	2	3	4
⑬ 福祉介護人材の育成・養成	1	2	1	2	3	4
⑭ 地域福祉権利擁護事業	1	2	1	2	3	4
⑮ 福祉団体の支援	1	2	1	2	3	4
⑯ 募金・寄付活動	1	2	1	2	3	4
⑰ 生活資金の貸付	1	2	1	2	3	4
⑱ 社会福祉大会	1	2	1	2	3	4
⑲ 地域支えあいセンター	1	2	1	2	3	4
⑳ ファミリー・サポート・センター	1	2	1	2	3	4
㉑ その他 ()	1	2	1	2	3	4

まいばらし ちいきふくししさく
7. 米原市の地域福祉施策についておうかがいします。

とい 問36 あなたは、子育てや高齢者、障がい者に関するサービスを安心して利用できるようにするため、どのようなことを充実すべきだと思いますか。(3つまで○)

1. 福祉サービスを適切に選んで利用できるように支援する相談窓口を充実する
2. 福祉サービスにかかわる人権侵害や苦情について、安心して気軽に相談できる窓口を充実する
3. 福祉サービスの利用者が自身の人権を尊重する知識を身につける学習機会を充実する
4. 福祉サービスにかかわる人材の育成を充実する
5. 福祉サービス提供者の人権意識を高めるなど、質の向上を図る研修・啓発を充実する
6. 悪質な事業者を排除する仕組みを充実する
7. 福祉サービス利用者の人権を尊重するための法律や制度を充実する
8. その他 ()

とい 問37 あなたは、福祉を充実させていくうえで、行政と地域住民の関係についてどのように考えますか。(もっとも近い考え方1つに○)

1. 福祉を充実する責任は行政(国や県、市町村)にあるので、住民は特に協力することはない
2. 行政の手の届かない福祉課題については、住民が協力していくべきである
3. 福祉課題については、行政も住民も協力し合い、共に取り組むべきである
4. 住民が福祉課題に積極的に取り組み、行政に頼るべきではない
5. その他 ()

とい 問38 今後、米原市が健康や福祉を充実していくうえで取り組むべき施策として、どれを優先して充実すべきだと思いますか。(3つまで○)

1. 身近なところでの相談窓口の充実
2. 保健福祉に関する情報提供や案内の充実
3. 高齢者や障がい者が、安心して在宅生活をおくれるサービスの充実
4. 高齢者、障がい者、児童の福祉施設の整備・充実
5. 健康増進・維持のための相談や訪問指導などのサービスの充実
6. 健康診断・がん検診などの保健・医療サービスの充実
7. 住民がお互いに支え合い、助け合える仕組みをつくる
8. ボランティアなどの地域活動参加の促進や支援
9. 自主・自発的な市民福祉活動の活用や支援
10. サービス利用者などを保護する権利擁護や、苦情対応、サービス評価などの取り組み
11. 福祉教育の充実
12. 子育てが安心してできる子育て支援サービスの充実
13. 生活困窮者や生活保護受給者の自立支援の充実
14. ボランティアや地域活動にかかわる人材の育成
15. その他 ()

